

# 学習目標の明確化による授業の充実

——学習指導に関する実態と考察——

研究・相談部 笠 間 富 久

昭和51年10月6日発表した教育課程審議会の「審議のまとめ—教育課程の基準の改善について」の中でも強調されているように、人間性豊かな児童生徒を育て、ゆとりのある、しかも充実した学校生活を送るようになるためには、各学校においてゆとりのある教育課程を編成しなければならない。指導内容について、近年来より児童生徒の実態を考慮し、教科の目標及び内容の趣旨を逸脱しない範囲内で学習目標の重点化と、内容の精選化が要求されているのもそのゆえんである。

しかし、学校で毎日行われている授業についての現状は、児童生徒の実態を科学的にとらえ、指導の目標・内容が精選され、具体化され、しかもそれらが教師と児童生徒の相互の理解の上に立って進められているのであるか、学習するに当たって事前に児童生徒のレディネスを把握しているか、学習目標を行動目標化しているか、授業における評価はどのようなものであるのか。本調査は、これらの実態を把握し、学力向上を志向した授業改善を図ることを目的として実施したものである。

## I 調査の方法

- A 実施月日 昭和51年4月中旬
- B 調査対象 県下小・中学校（分校を除く）
- C 調査方法 質問紙法
- D 回答数 小学校 444校（78%）  
 教員数 5,013名  
 A地区 81校  
 B地区 256校  
 C地区 107校  
 中学校 199校（76%）  
 教員数 3,511名  
 A地区 58校  
 B地区 96校  
 C地区 47校

## II 調査結果及び分析

### 1 [レディネス調査について]

質 問 あなたの学校では昨年度教科指導についてレディネスを調査されましたか  
 ア 実施した イ 実施しない

<結果の集計>

表1 レディネステストを実施した学校数

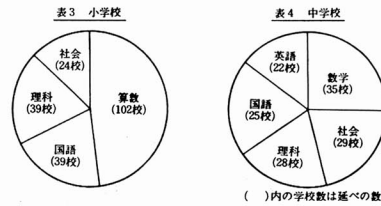
学校	%	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	
小学校	62	[Bar chart showing 62% of elementary schools implemented]										
中学校	72	[Bar chart showing 72% of middle schools implemented]										

■ 実施した  
□ 実施しない

表2 レディネステストを実施した教師数

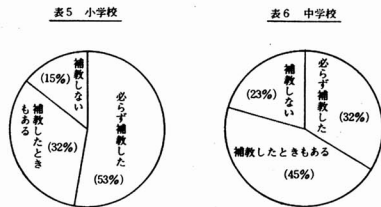
学校	%	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	
小学校	(18)	[Bar chart showing 18% of elementary school teachers implemented]										
中学校	(9)	[Bar chart showing 9% of middle school teachers implemented]										

教科別によるレディネス調査実施状況



質 問 レディネス調査後、どんな処置を  
 なん人の先生がとりましたか  
 ア 必ず補教をした  
 イ 補教したときもあった  
 ウ 補教しなかった

<結果の集計>



補教を行う時間

